

カーボンフットプリント

Climate宣言

EPD登録番号： SuMPO-EPD-2604-131-1

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>

※Climate宣言は温室効果ガスの排出量をCO2換算値で示したものであり、EPDではありません。EPDは<https://ecoleaf-label.jp>を確認してください。

HITACHI

IP-PBX NETTOWER CX-01 V3 タイプS

Hitachi Electronic automatic exchanges CX-01 V3 typeS

株式会社日立情報通信エンジニアリング

Hitachi Information & Telecommunication Engineering, Ltd.



GWP（カーボンフットプリント）

17,608 kg CO₂eq

製品・LCA情報

宣言単位

1台

システム境界

Cradle-to-Grave

製品の型式

CX-01 V3 タイプS

主要仕様

回線容量：最大512(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)

①外線 最大512回線

②内線 ・多機能電話機 最大1,024

・単独電話機 最大1,024

・PHS 最大10,000

※標準構成(組み合わせやオプションの実装により、最大数が変わります。)

※製品の改良により予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

EPDタイプ

単一製品

特定サイト

特定値

LCIデータおよびその他のバックグラウンドデータ

IDEA ver.3.1

生物由来炭素の取り扱い

0/0アプローチ

EPD検証情報

登録番号

SuMPO-EPD-2604-131-1

検証合格日

2026年4月3日

公開日

2026年4月17日

検証有効期間

2031年4月2日

検証方式

検証員による第三者検証

検証実施者 服部 篤氏

(所属) 個人

PCR情報

PCR名

IT 機器

適用PCR番号

PA-520000-BF-04

認定日等

2023/8/15

レビューパネル委員長

山岸 健 (一般社団法人サステナブル経営推進機構)

生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	—	—
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	—	—

EPDリンク

<https://ecoleaf-label.jp/epd/2958>

カーボンフットプリント

Climate宣言

EPD登録番号： SuMPO-EPD-2604-131-1

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>

※Climate宣言は温室効果ガスの排出量をCO2換算値で示したものであり、EPDではありません。EPDは<https://ecoleaf-label.jp>を確認してください。

GWP (カーボンフットプリント)

ライフサイクル段階	内訳	単位	割合
原材料調達段階	2.14E+03	kg-CO2eq	12.1%
製造段階	4.47E+02	kg-CO2eq	2.5%
流通段階	4.32E+01	kg-CO2eq	0.2%
使用段階	1.49E+04	kg-CO2eq	84.6%
最終段階	8.48E+01	kg-CO2eq	0.5%
合計	1.76E+04	kg-CO2eq	

算定結果に関する説明

(1) 製品仕様など

・製品種類名：電子交換機

・製品名：IP-PBX NETTOWER CX-01 V3

・型式：タイプS

・CO2排出量

－製品あたり 17.6t-CO2e

－1ポート・1年あたり※1 7.0 kg-CO2e/ポート・年

・主な製品仕様(標準構成(組み合わせやオプションの実装により、最大数が変わります。))

－接続ポート数：最大512(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)

①外線 最大512回線

②内線 ・多機能電話機：最大1,024

・一般電話機：最大1,024

・PHS：最大10,000

－想定使用年数※2 7年

測定条件：使用時電力は、認定PCR(PA-520000-BF-04)で定めた測定方法により測定しております。

但し、冗長回路はなし、接続ポート数：359ポート（多機能電話機122台、アナログ電話機122台、PHS61台、外線54回線）

※1 1ポート・1年あたりのCO2排出量は製品あたりのCO2排出量より、接続ポート数[ポート]、及び想定使用年数[年]の除算により算出。

※2 想定使用年数は、当社が当該製品に対して保守サービスを提供する期間として設定しています。

(2) 算定結果の解釈と限界に関する説明

・使用・維持管理段階における温室効果ガス排出量が最も多くライフサイクル全体の約85%を占めており、使用時の消費電力の影響が大きいため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。

なお、使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同一でない場合があります。

・EPD算定にあたり、原料使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品の製造時データを収集することは困難なため、一般的な原料製造時のデータを利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。

・「部品、付属品」の製造に係る活動量は、原単位に合わせて質量、価格、数量の単位で収集。

追加の環境関連情報

・ISO14001:2015認証取得工場で生産・組立しています。

・欧州RoHS指令に準拠しています。

・環境配慮したグリーン調達ガイドラインを制定し、調達パートナーと共にグリーン調達に取り組んでいます。

Climate宣言について

この宣言は、ISO14025に準拠したEPDを作成するために実施されたLCAの算定結果に基づき、地球温暖化影響（カーボンフットプリント）のみを切り出して開示した宣言です。カーボンフットプリント以外の指標が、地球温暖化への影響と同等又はそれ以上の重要性を持つ可能性があり、本宣言の解釈及びコミュニケーションには細心の注意が必要です。この数値は、検証済みデータの一部を切り出したもので、宣言そのものはSuMPO環境ラベルプログラムで検証を受けたものではありません。ISO14025に準拠したEPDは下記のQRから確認してください。

EPDリンク



問い合わせ先

事業者名・部署名

株式会社日立情報通信エンジニアリング

住所

神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号 クイーンズタワー-B 22階

メールアドレス/電話番号

045-227-3000